

寄附趣意書

特定非営利活動法人
グリーンリボン推進協会
理事長 大久保 通方

改正臓器移植法が施行され、10年が経過しました。この間脳死下臓器提供は、毎年僅かな増加にとどまっておりましたが、昨年は、明るい兆しが見えてきました。脳死下臓器提供が98例（前年比30例増）と大幅に増加し、心停止下臓器提供が28例（同1例減）と微減したが、合計では法施行前の1989年には、及ばないものの126例（同29例増）となり、臓器移植総数480例とともに日本臓器移植ネットワーク（JOT）発足以来、最多となりました。またここ数年は増加傾向にあります18歳未満の脳死下臓器提供も昨年は、18例（6歳未満7例）と大幅に増加し、国民の意識が大きく変わりつつあることを感じさせられます。しかしながらこの状況でも諸外国に比べ遥かに少ないことには変わりはなく、JOT発足後の累計待機中死亡者は約7千人になっています。この様に、まだ引き続き社会に臓器移植、臓器提供への理解を広める活動を続けていくことが必要です。

今では、臓器移植、臓器提供という言葉は知らない人はいませんし、特に若い人たちの意識は、大きく変化しているようですが、ただその現状や詳細については、理解されているわけではありません。やはりこれからも臓器移植、臓器提供の理解を広げるためのより一層の普及啓発活動は必要です。

当協会では、一般のボランティア、学生、学校関係者にも参加を呼びかけ、移植医療に関心のある市民ボランティアや患者団体、日本移植学会など関連医学会、移植関係団体とも協力しつつ、市民目線で分かりやすい、親しみやすい普及啓発活動を目指し、東京銀座でのパレードや広島でのイベント、移植勉強会「みんなで学ぼうグリーンリボン」などの活動を行ってきました。

今年度も引き続き東京銀座での臓器移植推進グリーンリボンパレードを企画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止せざるをえなくなり、それに替わる東京でのイベントを企画しております。広島でのイベントは、新型コロナウイルスの感染予防策を充分し、「ひろしまグリーンリボンミュージックライブ2020」として開催し、同時にWEBにて全国に配信します。またメディアワークショップや厚生労働大臣への要望書提出など地道な活動も続けます。移植医療勉強会「みんなで学ぼうグリーンリボン」は、感染予防上少人数の参加としそれをWEB配信します。

当協会では、広く活動を行うために一般市民や関連企業及び団体に協力、支援を引き続きお願いして参ります。御社におかれましても、どうぞ移植医療と私たちの活動にご賛同を賜り多くの患者さんの救命と移植医療発展のために、ご協力を切にお願いする次第です。